

市町村名	中城村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光振興地盤強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	総務課		事業実施 年度	平成 28 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	世界文化遺産「中城城跡」や吉の浦公園で行うイベント等で、観光客の利便性を向上を図るため駐車場を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	266,174		114,983		381,157	
	B. 執行済額	264,410		114,787		379,197	
	うち 交付金充当額	211,528		91,830		303,358	
	執行率(%) (B/A)	99.3%		99.8%		99.5%	
執行状況の説明	概ね、計画通り執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	基本計画の策定 実施設計の実施 建設地購入の実施	目標	基本計画 実施設計 建設地購入				
		実績	基本計画 実施設計 建設地購入				
	磁気探査の実施 工事の実施	目標			磁気探査 本体工事		
		実績			磁気探査 本体工事		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	基本計画の完成 実施設計の完成 建設地購入の完了	目標	基本計画の完成 実施設計の完成 建設地購入の完了				
		実績	基本計画の完成 実施設計の完成 建設地購入の完了				
	公共駐車場整備工事完了	目標			工事完了		
		実績			工事完了		

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R1年度 目標/発現年度
	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場の在り方について観光客や村民等へのアンケートで検証する	目標	80.0%			
状況説明	【R1年度】 関係機関との連携により、利用者にスムーズなアクセス環境を提供し効果的な施設活用を実施することができたとともに、多くのイベントで利用されたことで施設の認知度が向上し、県商工会主催の祭りでは施設を会場として活用するイベント等も実施され、利便性の向上及び観光誘客を促進することができた。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R1年度】 施設活用により、必要な駐車スペースが確保されたことで以前まで問題となっていた路上駐車やうろつき交通等がなくなり、イベント来場者に快適なアクセス環境を提供することができた。 また、様々なイベントで活用されたことで、今後も利用者が増えると予想されることから、条例及び規則に基づき適正な管理を行っていかねばならない。			【R1年度】 施設認知度の高まりにより、今後、近隣市町村で行われるイベントの臨時駐車場、また会場としての利用も考えられることから、施設場所を来場者に的確に周知することで利便性向上を図り、観光誘客に繋げていく必要がある。			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R1年度】 施設は大型バスの駐車スペースを完備するほか、本島内の南北を繋ぐ国道329号に近接しているという利点、またHPIに施設の利活用実績を掲載することで、村主催イベントはもとより他市町村主催のイベントや民間団体が主催するイベント等の臨時駐車場、又は会場としての利用を促し、中城村のみならず、県全体の観光誘客促進に取り組んでいく。また、関係機関との連携強化及びイベントを行う際の関係者と協力し、施設の場所を多くの利用者に周知していく。						

市町村名 **中城村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	子育て支援施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-(ア)
	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成				

担当部署名	こども課	事業実施年度	平成30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)
-------	------	--------	--------	------------------	---------

事業内容
 児童生徒に向けた各種放課後教室等や遊びの場を提供している、村内の子育て支援施設を安全に利用できるよう、屋上やトイレのドアの防水性、ホール内の壁の耐久性の機能強化を実施し、健全に成長できる環境を整える。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】	H30年度	R1	R2	R3	合計
	A. 予算現額	13,000			
B. 執行済額	11,534				11,534
うち 交付金充当額	9,227				9,227
執行率(%) (B/A)	88.7%				88.7%
執行状況の説明	予算減額が生じたが、事業は当初計画どおり実施できた。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		機能強化整備の実施	目標	実施		
	実績	実施				

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		機能強化整備の完了	目標	完了		
	実績	完了				

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R1年度 目標/発現年度
	強化整備実施箇所における危険事例の発生件数		目標	0件			0件
実績		0件					
状況説明	【令和元年度】 ・子育て支援施設を利用する児童の危険事例は0件となっており、安全な環境確保を維持できている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 施設を利用するための登録者数があまり伸びていないが、限られた児童が利用していることが多いため、広い範囲に渡り周知が必要である。また、交通アクセスにも少し課題が残る。 屋上やトイレのドアの防水性、ホール内の壁の耐久性の機能強化を実施することで安心安全に利用できる施設となったため、イベントの開催も増え、当該施設の更なる活用促進が期待できる。			【R1年度】 子育て支援施設を幅広く周知をしていく必要があることと、容易に利用できる交通アクセスの紹介や方法を検討していく。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 子育て支援施設での各種事業について、保育所運営等の実績がある社会福祉法人へ委託先の変更を行い、子育て支援の専門的知識を生かし、保護者や児童からの信頼を得ることで、限定的となっている利用者の幅を広げていき、施設の更なる利用促進を図る。							

市町村名	中城村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	防災体制整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務課		事業実施 年度	平成 26	令和 2	年度 災害に強い県土づくりと防災 体制の強化 III-10-(2)	
事業内容	災害時における住民及び観光客の安全を確保するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に必要となる生活物資や備蓄品等の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	16,016	700	3,579	2,020	22,315	
	B. 執行済額	15,486	700	3,161	1,378	20,725	
	うち 交付金充当額	12,388	559	2,528	1,102	16,577	
	執行率(%) (B/A)	96.7%	100.0%	88.3%	68.2%	92.9%	
執行状況の説明	執行率は92.9%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	非常食	目標	1,000食	1,500食	1,500食	1,750食	1,250食
		実績	1,000食	1,500食	1,500食	1,500食	1,250食
	備蓄品等整備	目標	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施	実施
防災マップ機能強化	目標				実施		
	実績				実施		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	・非常食 整備率100% (H30年度整備数 9,000食/全体計画 9,000食)	目標	35.1%	52.6%	70%	84.6%	100%
		実績	35.1%	52.6%	70%	84.6%	100%
	ソーラー信号機の整備完了	目標	20%	40%	60%	80%	100%
		実績	20%	40%	60%	80%	100%
防災マップの更新完了	目標				実施		
	実績				実施		

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R1年度 目標/発現年度
	整備した防災マップ及びソーラー信号機を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	年2回				年2回
	実績	年2回					
	【R1年度】 6月の土砂災害・全国防災訓練、11月の夜間避難所開設訓練、小学校への防災出前授業(避難所体験)で、整備した防災備品等を活用し、賞味期限が近い非常食については非常食体験を行ったほか、防災マップにより、風水害及び地震(津波)災害対策の情報を理解し、住民参加による実践的な訓練及び防災教育を図ることができた。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 防災訓練を実施したことで、食料備蓄を迅速かつ計画的に配分・供出する体制や災害発生時の迅速な対応のための防災体制を強化することができた。沖縄県が新たに作成・公表した各種警戒区域等を踏まえ防災マップの機能強化ができた。			【R1年度】 いつ起こるかかわからない大規模災害に備え、今後も引き続き生活物資や災害対策備品の拡充のため、計画的に整備していく必要がある。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 地震・津波等の大規模災害時や、台風・大雨などの災害時等に、災害発生時の迅速な対応を確実に行うため、防災訓練の回数や地域を増やし、防災体制の強化を図る。防災意識の高揚と防災知識を獲得するため、児童や村民の防災教育にも力を入れていく。							

市町村名	中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	防災拠点及び地域交流施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災 体制の強化	
担当部課名	企画課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 III-10-(2)
事業内容	災害時等における迅速な対応を行えるよう、防災訓練を行うとともに、地域交流を促進しながら地域一体となった防災への意識を高めるため、防災拠点施設整備を行った。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
	A. 予算現額	2,312	9,710	60,266		72,288
	B. 執行済額	2,311	9,710	60,265		72,286
	うち 交付金充当額	1,848	7,767	48,212		57,827
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
執行状況の説明	各年度の不用額は、入札残によるものであり、事業については当初の計画どおり行われ、予算は適正に執行した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	防災拠点施設の建築工事	目 標	基本設計	実施設計	本体工事	
	実 績	基本設計	実施設計	本体工事		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	防災拠点施設の建築工事の完了	目 標	基本設計の完了	実施設計の完了	本体工事の完了	
	実 績	基本設計の完了	実施設計の完了	本体工事の完了		

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	-
	施設を活用した避難訓練等を実施した回数	目標	2回				-
		実績	3回				-
	夏祭りや敬老会等、地域交流イベントの参加者数	目標	350人				-
実績		552人				-	
状況説明	<p>【R1年度】 施設を活用するイベントでは、幼児から高齢者まで幅広い世代の方が参加する等、地域住民の憩いの場として着実に定着してきている。また、防災訓練や防災講演会の他にも防災組織の勉強会等も実施したことで地域住民の防災意識が高まり、自主防災組織の立ち上げにも着手していることから、地域交流を促進しながら地域一体となった防災への取り組みを実施することができた。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 地域主催の祭りやその他イベントに地域住民の方が多く参加しており、地域交流の場として活用されている。また、日常的に行われる体操教室等も実施されており、地域交流の場だけではなく住民の憩いの場として定着してきている。また、災害時に住民自らの生命や財産等を保護するために結成される自主防災組織の立ち上げにも着手しており、地域全体の防災意識向上が図られている。</p>			<p>【R1年度】 今後も施設が交流の場、また住民の憩いの場として活用されるよう地域と連携し定期的な報告を受けることで適切に施設管理していく必要がある。また、防災訓練や防災講演会の参加者のほとんどは成人している方だったため、今後は地域の子ども達にも参加しやすい・分かりやすい防災訓練等を計画するとともに、地域が自主防災組織として活動していくため、防災訓練等で使用する防災備品の借用や防災資材の提供を行う必要がある。</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 地域から年間の施設活用計画や活動報告書等を提出してもらい適宜指導や情報共有を行うことで、適切な施設管理を維持していく。また、自主防災組織の立ち上げに向け取り組んでいる地域住民をバックアップするとともに、今後も連携して施設を活用した子ども達にも分かりやすい防災勉強会や防災訓練等を実施することで災害時における迅速な対応を行えるよう、地域と行政が一体となった防災への取り組みを行う。</p>							

年度ごとで事業名が異なってしまっているため、継続事業だと分かりやすくするために今年度と同じ事業名で提出しても宜しいでしょうか。

市町村名	中城村		【後年度発現事業】				
沖繩振興特別推進交付金事業（市町村交付金）							
事業名	文化財悉皆及び中城村沖繩戦調査事業				沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖繩の文化の源流を 確認できる環境づくり	
担当部課名	教育委員会	生涯学習課	事業実施年度	平成25 ~ 令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	III-3-(2)	
事業内容	村民の文化財保護意識の高揚と文化財の活用を図るため、村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置及び現況を把握することや、村内の沖繩戦に関する遺跡の所在、体験談を記録に残し、次世代に継承するため調査事業を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～27年度	28年度	29年度	30年度	合計	
	A. 予算現額	20,621	16,231	21,140	33,540	91,532	
	B. 執行済額	20,490	14,467	21,098	29,991	86,046	
	うち 交付金充当額	16,392	11,573	16,877	23,993	68,835	
	執行率(%) (B/A)	99.4%	89.1%	99.8%	89.4%	94.0%	
執行状況の説明	執行率は89.2%で、不用額は印刷物の入札残等となり概ね計画どおり執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	【文化財悉皆調査】 各集落での聞き取り調査の実施	目標	2字	4字	3字	3字	2字
		実績	2字	4字	3字	3字	2字
	【文化財悉皆調査】 調査概報(各字パンフレット)の作成:2字	目標	2字	4字	3字	3字	2字
		実績	2字	4字	3字	3字	2字
	【中城村沖繩戦調査】 沖繩戦調査の実施	目標			調査の実施	調査の実施	調査の実施
		実績			調査の実施	調査の実施	調査の実施
	【移民調査】 移民調査の実施	目標					調査の実施
		実績					調査の実施
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	悉皆調査率 沖繩戦の調査における記録	目標	17% -	39% -	56% 50件	72% 75件	83% 100件
		実績	17% -	39% -	56% 99件	72% 82件	83% 237件
	移民に関する基礎調査	目標					基礎調査の完了
実績						基礎調査の完了	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	-
	調査した内容を活用した企画展示会の来場者数		目標	1,500人			
		実績	1,297人				-
状況説明	<p>【R1年度】 成果目標を下回る結果となったが、1,000人以上の来場者が居たほか、村外からの来場者も多く、村文化財や沖縄戦についての理解を深めてもらったことで、文化財保護意識の高揚と歴史継承を促進することができた。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 見学者へのアンケートでも趣旨や内容が分かり易い、想像しやすい、当時の状況が分かったなどの回答が多く、企画展の目的を達成することができたと思慮する。</p>			<p>【R1年度】 村内外からより多くの方に見学に来ていただき、中城村の文化財や沖縄戦を理解してもらうために、告知方法などの改善が必要である。</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 チラシやポスターの掲載時期を早めるとともに、新聞やテレビでの広報宣伝を行うことで、一人でも多くの人に中城村の歴史や文化、また沖縄戦についての理解を深めてもらうよう来場者数の増加に努めていく。</p>							

市町村名	中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	村内文化財整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を 確認できる環境づくり
担当部課名	教育委員会	生涯学習課	事業実施 年度	平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	中城村指定有形民俗文化財「津覇のテラ」の環境整備を行い、人々への周知を図り見学してもらうことで、文化財愛護意識を高め文化財の継承を図るとともに、文化財巡り等で活用を行っていく。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額	5,549				5,549
	B. 執行済額	5,379				5,379
	うち 交付金充当額	4,302				4,302
	執行率(%) (B/A)	96.9%				96.9%
執行状況の説明	執行率は96.9%となっており、概ね計画どおり執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	測量委託の実施	目標	実施			
		実績	実施			
	工事設計・監理委託の実施	目標	実施			
		実績	実施			
環境整備工事の実施	目標	実施				
	実績	実施				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	「津覇のテラ」整備に係る測量・設計完了	目標	完了			
実績		完了				

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R1年度 目標/発現年度
	津覇のテラを活用した学習会等の参加者数	目標	50人				50人
	実績	60人					
状況説明	【R1年度】 容易に見学ができる環境が確保されたことで文化財がより身近なものになり、小学校の児童だけでなく地域住民等も津覇のテラに訪れ、文化財に対する理解と愛護精神を高め、継承促進を図ることができた。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 村の有形民俗文化財に指定されているが、今までは入り口が狭く、また案内板等もなかったため周知されにくいという問題があり、文化財として情報発信しにくかったが、見学しやすい環境が整ったことで小学校の児童や地域住民等が訪れ文化財への興味が促進され文化財の継承に繋がったと考える。			【1年度】 さらなる活用を図るため村内外の方にも、当該文化財の情報を発信し、文化財巡りの促進及び周知を図っていく必要がある。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 今後発行する観光・文化財マップ等で当該文化財を紹介し、近隣小学校へ平和教育の活用について呼びかけを行っていく。							